新京日日新聞
夕刊
十二月十六日(木)

滿鐵、大汽、臺灣交通局 運輸聯絡會議
來年四月より聯絡取扱開始

〔大連十四日發國通〕滿鐵、大連汽船、臺灣交通局聯絡運輸下打合せ會議は十五日午後二時より鐵道部會議室に於て滿鐵より淸水鐵道部次長、山口營業部長、大汽より高木常務、臺灣交通局より倉本貨物係主任出席、協議の結果、三社間に協調纏まり明年三月半に契約を完了し四月一日を期し聯絡取扱を開始する事に決定し、四時半散會した、右により旅客の利便は勿論最近北滿方面で激增した臺灣貨物の輸送も著しく敏速となり滿、臺間の關係を從來に數倍して密接ならしめる譯である

十月中の輸出入 大藏省發表

〔東京十五日發國通〕大藏省發表による十月中の輸出入高左の如し（單位千圓）

輸出　一七八、九二三
輸入　一四五、八三〇

即ち前年度より輸出は二一、七四一增加し、輸入は四四、〇六八の增加である

外國人の入國者 九月より減少

十月中における外國人の滿洲國入國通過數は全部で五百十四名、九月中に比較すると二百六十五名の減少を示してゐるがそれは夏季旅行者が一段落をなしたためで他方職業婦人、建築技師等の減少も原因したものである、なほその內譯數字は次の通りである

一、入國並びに通過人數
男三二九名、女一八五、計五一四名で內譯大連を經由せるもの二六六名の約半數を占め山海關七三名滿洲里五九名安東五五名營口、東京各使館各二二名綏芬河一〇名である

二、國籍別
英國人八二名、蘇聯人七〇名、米國人五八名、獨逸人四二名、佛國人一八名、ポーランド人一三名、白系露人六六名等主なるもので其他十六ヶ國に跨つて居る

三、職業別
商業者一三四名と斷然優勢にて宣敎師五三名、外交官二九名、學生十五名、醫師十二名、新聞記者十名、職業婦人六一名等主なるもので其他講演家、軍人、農業、技術家、警官等各方面の人士を網羅して居る、なほ右統計には計上してゐないが北方ソ聯國境方面からソ聯側の壓迫に堪へかねて身をもつて逃け來れる一種の密入國企圖者はソ聯側のパスポート制度強行のため增加の傾向がある、又旅券査證とは直接關係ないがソ聯國內に在住してゐた中華民國人の避難も目立つてゐる、彼等は國境でソ聯官憲のため無一物となつて滿洲國官憲に泣き訴へ來る有樣で、この點に關し中華民國側においては何等救濟の手段を講ぜないのは困つたものである

積極的減產 實施を行はん
生糸暴落に對する 農林省の對策案

〔東京十五日發國通〕生糸再び崩落し六百圓臺を割るに至り、農林省でも對策の必要を認め具体案を考究中であるが崩落の傾向倘續かば積極的減產實施を行ふものと觀られて居る、これには
一、桑園の整理
一、掃立の制限
にあり之と同時に販賣統制を確立する爲め近く第二回販賣統制調査會を開き具体案作成を急ぐこととなつた

全國製糸業組合聯合會

〔東京十五日發國通〕全國製糸業組合聯合會は十五日丸の內蠶糸會館に特別委員會を開催、當面の對策として操短問題、爲替對策に就て協議したが、結局結論を得るに至らず十六日引續き協議する事として散會した

滿鐵增資報告の株主總會
十二月二十日開催と內定

〔大連十五日發國通〕滿鐵增資報告の株主總會は十二月廿日午後二時に開催されることに內定したが當日は林、八田正副總裁竹中理事も出席する筈で、關東軍案を中心とする滿鐵改組問題が關東軍の主張するが如き滿洲經濟機構を一變するが如き案に對し滿鐵首腦部も拓務省と打合せの上之が態度を明らかにすべく同日の總會は頗る注目されて居る

齊克街道の 氷結待たる

〔黑河十四日發國通〕旣報の如く黑龍江は十二日夜已に結氷し二、三日中には渡河出來る模樣であるが、汽船の航行は勿論絕えたがチチハル黑河間街道が完全に結氷せざるため黑河は目下一週間一回の飛行便に依る聯絡あるのみにて一般住民は困窮して居る、齊克街道が氷結すれば再び陸路の自動車、馬車が開始するのでそれにのみ望をかけて居る

西洋威信の失墜
イヴニングポスト紙揭載（六）
エドガー・スノー論說

明かに日本は亞細亞を統一して指導する使命及一、明治大帝の神聖なる委託により二、歷史的事情の連鎖により彼等に附與されたる使命を確信して居る

今日に於て東洋には政治的に二大原動力があるに過ぎぬ政治原動力と之を實行し得るが强き布敎師的指導者と神の協めと同じく自己の信念の協めには喜んで死する歸依者を有する社會機構を必要とする此の二大原動力こそ汎亞細亞主義の日本とサヴエートロシアに外ならない、兩國共に活動的侵略的の國にして東洋に於て作用して居るが如き同樣の信念が西洋にあつては其の背後にしか存在して居ない國際組織を威嚇して居る國々である、終局に於て此の二國は紛爭を惹起すべく一國は他の一國より併呑されるに至るであろう然しそれ迄に此の二國は協力して西洋殖民制度の型を附けるであろう歐洲人がアレキサンダー大帝時代人間が作らんと勉めし世界平和を遂成する機會を東洋に於て惠まれて居た事が悲劇的な點になる譯であるが其の機會たるや今は失はれて仕舞つた

而し今東洋に於て萌芽ではあるが歐洲の二の舞たる貪慾戰爭頑迷國家主義的の國のあることを見逃してはならない地球は今やヨーロツパ主義、亞米利加主義、日本主義と云ふ三つの世界に分轄されて居るこれより推して今後の世界は涯しなき勝負の世であり、恐るべき破壞力の發揮が三者の中の二者に延ひては三者諸共の中に起る筈であることも充分に見込のある譯である

吾人は白人種と褐色人種間に釀された憎惡と偏見を除去し兩者一丸となり文明の進步に努力せしめると云ふ巨大な仕事に直面して來て居る

此の情勢たるや極東問題の專門家の納得認識せる事柄で此の中でも特別の權威者ＸＸ家は救濟の途を講じて戰爭に據らざる解決策を提案して居るのである、それに據れば亞細亞に於ける日本一行動に就てスチムソン大佐（前米國務卿）が支那に於ける侵略の成果と呼んだ所のものを日本が滿洲に侵略した、果實のみならず初めに遡つて外國の支那分轄の果實をも元に返すことに因て根本的原因を根絕せよと謂ふのである、吾人は此の程度の提案に滿足するものでない支那のみならず全東洋を通じて侵略の成果を放棄するの時期の到來せざる限り亞細亞に於ては永久の平和は望み得ないと斷言するものである、其の時に於てのみ日本も敵對軍力を使用することなしに大陸より引退の用意を準備するであろう

日滿悲曲 生命線を行く
（舞台上演・映畫化）
國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

（十七）

彼女の復讐

伸一の歸つたことに依つて、大きな打擊をうけたのは、母の千瀬子であつた。

彼女は、自分の腹を痛めた久彌を、氏家家の主人として、巨萬の富を相續させたかつた。姉娘の佐喜子も、妹の楠も、並びに佐喜子の良人邦彥も、みな彼女の味方であつた。

その矢先、周作氏が、不治の病といはれる胃癌に罹つたので、彼女は、それを機會に邦彥をして、婉曲に周作氏を說かしめた。

しかし周作氏は、飽まで、長男の伸一を相續人とする考へであつた。それが、親としての、正しい道であるが、とにかくやうとして行衛不明であつた。それが、反つて千瀬子たちを、力强くした。

然るに周作氏は、ひそかに手を廻して、伸一が滿洲里に居ることを確かめた。そして星澤氏に、搜索方を依賴したが、そのことを、千瀬子等は、少しも知らなかつた。だから、伸一の出現は、彼女たちに取つて、寢耳に水であつた。

伸一の歸つた日。

牛込津久土町の邦彥の家へ、夜になつてから自動車を乘りつけたのは、千瀬子夫人であつた。

彼女は、ひどく周章てゝ居た。自動車を下りて、玄關まで、走り込むやうにして、はいつて來た。

佐喜子が、驚いて、それを出迎へた。

「佐喜子や、大變なことが出來たんだよ」

千瀬子は、サツサと、座敷の方へ歩きながら言つた。

「お父さまが、お惡いんですの？」

佐喜子は、テツキり父に急變が來たのだと思つた。

「邦彥さんはお居でかね」

夫人は、佐喜子の言葉など、殆んど耳に入らない樣子だつた。

「えゝ、書齋の方に居らつしやるわ。お母さん、なぜ、そんなにあわてゝ――？」

それでも夫人は、娘佐喜子の問ひを聞き捨てにして、座敷の方へ行きにかゝつたのを反對に、邦彥の書齋へはいつて行つた。

「邦彥さん、大變ですわ」

だしぬけに夫人がはいつて來て蒼ざめた顏に、電燈の光りをうけながら、いきなり大變だといふのだから、邦彥も、びつくりした。

彼もやはり、周作氏が、俄に惡くなつたのでないかと思つた。ツイ今の先、會つて話しをして來たばかりだのに、もう病勢が、そんなに變つたのか、それにしても、電話もかけないで、夫人が直接やつて來たのを、怪しまずには居られなかつた。

佐喜子も、母の後からはいつて來たが、心配して、女中に、茶菓を命じることも忘れて居る。

「あのね――伸一が、歸つたんですよ」

夫人が、さう言ふのと、ぐつたりと椅子にもたれるのと、殆んど同時であつた。

「えツ！」

邦彥夫妻は、眼を同じうして驚いた。驚きながら、邦彥はたづねた。

「それは、いつのことですか？」

「あんたが、歸られてから間も無く――」

「やはり、滿洲から――ですか？」

「えゝ、滿洲里で、旅館で働いてゐるんですつて」

「お父さんが病氣といふことを、知らずに歸つて來たのでせうか」

「いえ、それが、不思議なのよ。――ちやんと知つてゐるのよ」

「お父さんの今日の口振が、どうも、變だと思つたが、それで分つた。やつぱりお父さんが、伸一君を呼び寄せたんだ！」

邦彥は、見る／＼不快な顏になつた。周作氏は、宜い加減なことを言つて、自分をゴマ化して居たのだと、思つたら、あまり宜い氣持はしなかつた。

「どうすれば宜いでせう」

夫人は、邦彥だけが賴りであつた。只だ、彼に縋るよりほかに、分別はなかつた。

日印十二次本會議 十五日に開會さる
印度側の態度妥協的となる
會議の前途樂觀

〔デリー十五日發國通〕第十二次本會議は十五日午前十一時開會、曩に日本側提案の各點につき印度側より詳細回答して來つたが全然態度一變し極めて妥協的で再び最後案として妥協案を提議し來た、即ち品種別の分離は依然原案を固持してゐるがその間に融通性を認め印棉數量は稍々妥協的となり据置きを撤廢し來つた、事等で會議は俄かに妥協の色濃厚となつた、之れに關し日本側は考慮を約し十一時半散會した、印度側では休會中に充分研究して對案を本日の會議に提示し來つたものであるがその內容は頗る廣汎で殆んど全部に亘つてゐる、即ち品種別割當繰越し、綿布に對する從量税問題等で此の中品種別分離問題と印棉最高額等に就ては印度側も依然前案を固執して居るが大体は妥協的となり左の點で日本の要求を承認してゐる

一、品種別を二種とする點と若干融通性を認む

一、印棉基準數量百萬俵とすることと及び据置制度は撤廢する

印度側の態度強硬
會商尙一波瀾を免れぬ

〔デリー十五日發國通〕印會議は十五日再開となつたが印度の回答は日本案とは可なりの開き有る模樣で、印度の態度如何に依つては日印會商は更に永引くものと見られる即ち印度側は相當強硬で日本案を受諾し兼ると再考を求めるか妥協案を提示しても極く僅少の讓歩と觀られ會議は尙迂餘曲折あるものと觀測される

第十二次會商に提出せる
印度最後案內容

〔デリー十五日發國通〕細目協定に關する日印會商は去る九日の本會議で日本側が最後案を提出して以來廿日間中斷され其の間印度側は愼重に對策を考究中であつたが愈よ成案を得たので十五日午前十一時より第十二次本會議が開かれ、席上印度側は最後案とも觀られる妥協的な再回答を提出した、即ち品種別に就ては印度側は依然四種別に案を固執して居るが其の代り日本の主張する各品種間の或る範圍に於ける相互の融通性を認め一品種が一定量を越えた時は限られた品以內に於てそれだけの他の品種を減らす事に依つて各品種の限定割當を緩和する規定を認め讓歩した更に一年を二回に分ち一期間の輸出量が制限量を超過した時又は滿たざる時はそれだけ次期の量を增減する案も日本案通り承認した、次に綿布に對する從量税は印度案を固執し從價税、從量税の併用に反對した日本の要求に應ずる氣色もなく一方棉花買付量問題についても印度案を固執して讓らなかつた模樣である斯の如く品種別の融通性及び綿布輸出量の次期への繰越し方法に於て讓歩し其他の點は依然原案を變へないが十五日の會議によつて日印間の主張の懸隔は幾分狹められ徐々に歩み寄りの傾向を示してゐる次回會合は未定であるが日本側回訓の到着を待つて今週末には再開を豫期してゐる

コムミユニケ內容

〔デリー十五日發國通〕本日の日印第十二次本會議後左のコムミユニケが發表された

日印代表は午前十一時より會合し其の席上印度代表は前回の會合に於て日本側より提出された諸點に對する詳細なる回答を提出した、其の內容は

一、綿製品に對して適用さる可き割當を保障の種目に分つ事

一、割當との差額を次年度に繰越す事

一、綿製品に對する從量税の限度

一、棉花買付等に關するもの

日本代表は右回答を詳細に檢討する機會を與へられ度き旨を希望し、斯くて會議は午前十一時半散會した

對支通商條約締結につき質問
十四日英國下院に於て

〔ロンドン十四日發國通〕十四日の英國下院で保守黨議員ラルキン氏より「政府は支那と新通商條約を締結する意思があるか」との質問が出たに對しランシマン少將は「支那との新通商條約締結交渉を行ふことは不可能だが余は終始事態を注視し凡ゆる機會を利用して英國の對支貿易を助成する考へである」と述べた

ソ國內米人の信教自由を固執
米ソ復交未解決の一題目

〔ワシントン十四日發國通〕ルーズヴエルト大統領とリトヴイノフ代表間で進行中の米ソ復交交渉に於て尙未解決となつてゐるものの一つはルーズヴエルト大統領がソ聯邦內在生米國人の信教自由の權利を固執しつつある點で、此點は先年ソヴイエート當局がキリスト教の大彈壓を試みた事實に鑑みて特に米國側の力點を置く所である

滿洲國工業鹽 大量日本輸出
日本側との諒解成る

滿洲國財政部では國內鹽業振興を圖るべく本夏工業鹽一億斤の大量日本輸出を行ひ、復縣を中心とする渤海沿岸製鹽業は非常な活況を呈して居るが、同部にては政府財政收入增加を圖るべく恒久的增産計畫を樹立することもに來年度に於て工業鹽四億斤の日本輸出を計畫日本專賣局を通じて大日本鹽業との間に折衝中であつたが大体に於て諒解成立近く具体的に決定を見る答であるが右大量輸出契約の成立は滿洲鹽業の振興に拍車を加へ、產業開發に寄與するところ絕大なるものとして各方面より注目されて居る

ドイツの放送は
六十パーセントの成績

〔東京十五日發國通〕日獨交換放送は十五日午後四時半からドイツよりの君が代の放送に始り、次で永井大使の挨拶があつたが六十パーセント方の成績で聽取され、日本より大使館コルプ書記官のアナウンスによりドイツ國歌、ナチス歌に次でフオレツチ氏の挨拶あつて終了した、尙日獨兩國放送局では之を機會に時々交換放送を行ふ豫定である

東邊道に金融組合設立

〔奉天十五日發國通〕東邊道では事變當時義勇軍總司令唐聚伍が軍用票として二百五十萬元を發行、強制通用をなさしめ地方金融を攪亂せしめてゐたが事變一段落と共に通化縣公署に於ては地方金融及び農民救濟の爲、一箇年間中央部の認可を得て右軍票回收の爲卅萬元流通券を發行してゐたが、規定期間一箇年は已に經過したが尙十萬元の未回收あり、且つ中央銀行のデフレーションと農產物の下落に地方農民の金融は相當逼迫してゐるので商工業者及び地方有志は寄々對策協議してゐたが今回中央銀行より卅萬元を借入れ金融組合を組織する事となつたが逼迫せる農民は時ならぬ慈雨に嬉んでゐる

聯盟は有名無實
ム首相日本の躍進を禮讃

〔ローマ十四日發國通〕ムツソリーニ首相は十四日のイタリー全國職能團体協議會の席上國際聯盟の無力化を指摘し日本の躍進を禮讃して次の如き演說をなした

國際聯盟は元來よき意義をもつて發足したが今や二、三の大國が脫退し、且つ最初から、これを豫想したかの感を抱かしめ、聯盟は頗る馬鹿々々しいものとなつた、歐洲は日本の爲めに追越されつつあり、日本の絹物は世界の至る所に進出してゐる

日滿親善看板の
種々詐欺行爲嚴重取締りを
奉天各縣に再度通告

〔奉天十五日發國通〕滿洲國成立以來日滿親善の美名の下に內鮮人が中心となり無知な滿人に對し國防獻金、日滿慰問等と稱し強制的に支出せしめ體のよき詐欺行爲を爲し居る者相當あり、最近東邊道を中心に國民道德會及會員と稱し聖上陛下、傅執政御同列の御寫眞を價格五圓で地方農民に強制的に賣捌いて居る者が有るので、右は日滿親善を害するのみならず不敬も甚しいとて警務當局では十五日嚴重取締るやう省下各縣に再度の通告を發した

建艦計畫を變更し
重要艦の裝備强化を行ふ
英海相下院で聲明

〔ロンドン十四日發國通〕英國海相モンセラ氏は十四日英國下院で一九三三年度建艦計畫を變更し關係各重要艦の裝備強化を行ふ旨聲明し左の如く述べた

英國政府は他の海軍國も英國の例に倣ふものとの期待の下に比較的少噸數の巡洋艦改造の政策を採用してゐたのであるが、日米兩國の建造計畫に鑑み海軍省は今回建造計畫の變更を行ふことにした此の計畫は九千噸級戰艦型の巡洋艦二隻並びにアリスーザ級五千二百噸巡洋艦一隻を含むもので特に前者に於ては裝備を增大しやうとするものである而ら日本政府は一九三一年度に於て八千五百噸級巡洋艦二隻を起工し右巡洋艦は六吋の備砲十五門を裝備して居ると云はれ更に同一艦型の巡洋艦二隻の起工に着手してゐることが最近判明したのみならず別に巡洋艦二隻の建造計畫をも有して居ると確聞する、一方米國政府は六吋砲十五門を裝備する一萬噸級巡洋艦四隻の建造を計畫して居る、斯の如く英國の新巡洋艦は日米兩國政府が建造しつつある巡洋艦に比し明確に劣勢となるに至つたので建造計畫の修正を企圖するに至つたものである、但し巡洋艦の全噸數は明らかにロンドンの海軍條約の制限內である

米國當局の意見

〔ワシントン十四日發國通〕英國海軍當局が今回小型巡洋艦建造計畫を修正し噸數及び備砲の大き裝備の強化を行ふことを發明した結果に關し米國海軍當局は兎角の批評を避けて居るが次の如く意見を述べた

英國の建造計畫變更はロンドン海軍條約の權限內に於て行はれるものであると信ずる將來巡洋艦の最高噸數を現在の一萬噸以下に縮少する協定を締結するの可能性に就いては米國が反對するであらう、現在米國の海軍根據地は遠隔の地には無いので米國海軍としては大型の遠距離航續力を有する巡洋艦が最も米國に適した艦型だと考へるからである

海軍被告七名
小菅刑務所へ收容

〔東京十五日發國通〕五、一五事件の海軍被告七名は十六日午前五時小菅刑務所へ收容されることとなつた

東株緊急理事會で
岡崎理事長辭任と決定

〔東京十五日發國通〕岡崎東株理事長は午後五時緊急理事會で辭意を表明、本月末理事長の任期滿了の際辭任と決定した、後任には井坂孝、藤山雷太、松永安左衞門、結城豐太郎、原邦造、河合良成、小林一三諸氏の名が擧つてゐる

時局に鑑み
聯合艦隊の新編成

〔東京十五日發國通〕海軍では時局に鑑み聯合艦隊の編成を左の通り決定し發表した

△第一艦隊、第一戰隊（金剛、扶桑、日向、霧島）第七戰隊（五十鈴、長良、名取）第一水雷戰隊（川內）第五驅逐隊、第二十三驅逐隊、第二十九驅逐隊、第一潛水戰隊（長鯨）第七潛水戰隊、第八潛水戰隊、第一航空戰隊（赤城、龍驤）第二驅逐隊

△第二艦隊、第四戰隊（高雄、愛宕、摩耶、鳥海）第六戰隊（古鷹、衣笠、青葉）第二水雷戰隊（那珂）第六驅逐隊、第十驅逐隊、第十一驅逐隊、第十二驅逐隊、第二潛水戰隊（由良、迅鯨）第十九潛水戰隊、第二十九潛水戰隊、第三十潛水戰隊

△第三艦隊、第十戰隊（出雲）第廿七驅逐隊、第十一戰隊（對馬、安宅、宇治、隅田、伏見、鳥羽、瀨田、堅田、比良、保津、熱海、二見）第廿六驅逐隊（浦風）

△練習艦（磐手、淺間）

因に新編第一艦隊第一戰隊陸奧は改裝のため豫備艦となり其代りに扶桑、霧島が編入され、第一航空戰隊の加賀が豫備艦に編入され、赤城、龍驤を新に加へ、第六戰隊の加古が古鷹と交替された

人事往來

▲佐々木大佐（軍政部顧問）十五日午後零時三十分發吉林へ

▲三浦中佐（憲兵隊司令部）同上

▲河崎中佐（陸軍省）同上

▲山脇大佐以下廿二名（參謀本部地形調査班）十五日午後三時二十九分着哈市から

▲平井一等兵曹以下二十六名（松花江防備隊交代兵內地歸還者）同上

▲馬猷圖氏（北滿鐵路督六團長）同上

▲增岡少佐（奉天憲兵隊長）十五日午後七時三十分着奉天から

▲松岡俊三氏（衆議院議員）同上

▲勝又春一氏（同上）同上

▲中井一等兵曹以下四十一名（松花江防備隊交代兵）十五日午後十時發內地へ

▲ベーインス氏（白耳義男爵）十五日午後三時二十五分着哈市から

▲デニング氏（英國大連領事）同上

▲篠崎氏（民政部次長）同上

▲山脇大佐以下二十二名（參謀本部地形調査班）十六日午前六時三十分發吉林へ

▲米山調査課長（關東廳）十六日午後七時着大連から

▲中村大佐（關東軍司令部附）同上

▲會岡中佐（奉天憲兵隊長）十六日午前九時發奉天へ

▲矢田七太郎氏（瑞西公使）同上

▲西山政猪氏（文敎部司長）十六日午前九時發大連へ

▲宮脇少佐（關東軍司令部）十六日午前九時發奉天へ

▲酒井清兵衞氏（吉長吉敦鐵路滿鐵代表）沿線巡視中のところ十五日午後四時歸京

荒木章氏（新京地方事務所長）內地出張中のところ十九日門司出帆、二十一日大連着豫定の旨電報があつた

團体

▲東西合同歌舞伎團五十六名十九日午前八時三十分發哈市へ

▲大連ビューロー主催團二十五名十九日午後一時五十五分着二十日午後四時發吉林へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊 [illegible]　同遠限 [illegible]　紐育銀塊 [illegible]　孟買銀塊 [illegible]　米英爲替 [illegible]　米日爲替 [illegible]　米支爲替 [illegible]　スチール株 [illegible]　アナゴンダ株 [illegible]

▲上海標金

現物 十二月限 一月限 三月限 五月限 七月限 十月限 本寄 歩値 [illegible]

▲上海日本向　第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲上海倫敦向　賣値 買値 [illegible]

▲上海紐育向　賣値 買値 [illegible]

▲大連金鈔票　現物 十一月限 十二月限 寄付 歩値 引値 高値 [illegible]　不來

各地市場

▲大連上海向　高値 安値 [illegible]

▲大連歷台向 [illegible]

▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]

▲大阪株式　株 新株 紡新 大同 大鐘 [illegible]

▲同短期　新 新新 新鐘 [illegible]

▲大連株　東鐵 大 [illegible]

▲大阪三品　當限 先限 五品 豆 錢鈔 新 [illegible]

▲大阪棉花　十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 先限 [illegible]

▲大阪期米　當限 先限 [illegible]

▲仁川期米　當限 中限 先限 [illegible]

▲横濱生糸　現物 當限 先限 [illegible]

▲神戸豆粕　十二月限 一月限 [illegible]

▲カルカツタ麻袋　青筋 鐵筋 爲替 [illegible]

▲大連特產

●麻袋 現物 十一月限 十二月限 一月限 出來高 [illegible]

●大豆 袋込 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 寄 引 [illegible]

●豆粕 現物 十二月限 一月限 二月限 三月限 [illegible]

新京市況

糧豆現物　特產 大豆 高粱 小豆 包米 [illegible]

同先物 大豆 十二月限 [illegible]

錢鈔　鈔票對金票 現大洋對金票 哈大洋對金票 現大洋對鈔票 [illegible]

ゴロゴロ路上に放置の死体九個！
苦力とはいへ由々しき社會問題
死体處置の責任の所在は？

既報、帝國大使官邸前東三條通りに二日間も抛り放しにしてある滿人の死体は十六日午後零時十分に至るもなほ路上に放置され、しかも簡單な棺の蓋が半ば開かれ無念そうに息を引きとつた最後の場面がうかゞはれる有樣であるが更に十六日朝に至つて驚くなかれ五間と離れぬ永樂町四丁目裏通りにも一個、東四條通り北平棧前に三個、日本橋公園裏に二個、祝町五丁目九番地に一個東四條通り八番地に一個都合九ケの死体がゴロ〳〵と轉がつてゐる始末、右のうち永樂町と、北平棧前日本橋公園のものは棺におさめたが祝町及び四條通りの分は棺が定らないといふので未だにそのまゝ路上に放置されてゐる有樣で、十六日朝目撃者の談によればまだ死人にかすかに息のあつた際二人連れの苦力が通りかゝり、足で蹴つたり言葉をかけたりしつゝ他に見てゐる人がないとみるや帽子を奪ひ取つて懷中に納め逃げ去り、次に納棺に來た者は納棺の駄賃にと思つてか上衣一枚を外して歸つたとのこと、これは針小棒大な報導でもなく、また殊更に誇張した報導でもない、事實を事實のまゝである、滿洲建國なつて既に二年王道樂土滿洲國首都新京に一日十人からの行路死亡者があり、それが二日も三日も路上に放置され居るにおいて果して王道が保たれつゝあるであらうか建國の基礎いよ〳〵なりつゝあり外人の入國者多き今日、果して如何なる感を彼等に與へるであらうか苦力とはいへ由々しき社會問題である、而して行路死亡者の發生はこゝしばらく問はぬとしてもこ行路死亡者が二日も三日も放置される事實は果して何人の責任に歸すべきであらうか、まづその死亡者の處置される經路を明にし責任の所在を明にしておこう…

死體處分の始末はどうなつてゐる

附屬地内で滿人の行路死亡者があつた場合死体は如何に「處置」されて行くか先づその經路……死体發見次第所管派出所から首都警察廳衛生課へ通知（便宜上朝日通り派出所から長通路警察署に通知）同時に頭道溝商務會に通知して納棺、直ちに滿洲國側が引取ることになつてゐる、然るに大使館邸前の死体の如き十四日午後零時三十分ごろ發見、附近住民、大使登退廳時警戒の憲兵等から領事館警察初め朝日通り派出所、新京署に通知十五日午後二時に至つて漸く納棺、更に通行人、附近居住者から幾回となく前同樣當局に「通知」したにかゝはらず十六日朝に至つてもそのまゝあまつさへ死体はあちらの街こちらの街で合計九ツにもなるといつた有樣であつた

警察から通知をしていたゞけば昔とちがつて面目を一新した滿洲國警察のことそんな間のぬけたことは致しません貴社の方からも日本側警察にその旨を傳えておいて下さい

死体放置の責任は果して何れ

二日も三日も路上に死体を放置しておくことの責任はいづれにあるか各責任者の言によつてこれを明かにしやう

通知が遲れたか 首都警察廳 樋口技師談

行路死亡者は日本側警察の檢視が濟んでから長通路警察署に通知があり、七馬路分駐所にゐる死体引取專門の人夫がゐてこれを引取ることゝなつてゐる、處が往々通知が遲れたりすることもありこちらとしてはなるべく早く片附けたいと思つてゐるがそう思ふやうにゆかないのでこまつてゐる、しかし首都新京のことでもあり人道上の問題でもあるから今後かくの如きことのないやうにつとめ、まづ現在の死体も一刻も早く片附けるつもりである

日本側から未だ通知がない 長通路署 鵜野木巡官談

直接死体引取の責任者たる長通路警察署鵜野木巡官は語る嚴寒になると行路死亡者があるので殆ど私がその責任者のやうにやつてゐるが、一向そんな通知には接しないこちらの手落ちとか無責任呼ばはりは片腹痛い電話の通知なら通話者と受話者の名前を通知しておけば責任のなすりあひもない譯です、これからも多いことでせうがなるべく早く日本側

ダンスは社會を毒する
大連署ホールの取締を嚴にす 先づ酒類の販賣禁止

【大連十六日發國通】兒玉博士邸事件以來犯罪の陰にダンスありと言はれる程最近の犯罪はダンスに胚胎して居りダンス及びダンスホールが社會を毒しつゝある事實は覆ふべくもないが大連署は先般來ダンスホールの内狀につき徹底的調査の歩を進めてゐるがダンスホールの風紀を紊しつゝあるはホールの内容にあること判明、特に不良ダンス教師の跋扈は眼に餘るものあり、差當り先づ不良教師を驅逐すると共に内部の改革に大英斷を振ふことゝなり、先づホール内における酒類の販賣を禁止し順次峻烈な制限を加ふべく目下鋭意研究中である

再三の督促をも聞いてくれぬ 新京署の言葉

右につき新京署では語る 行路死亡者があつた場合所轄派出所から係員が行つて檢證をなし長通路署に通知七馬路分駐所から二名の人夫が行つて取除けることゝなつてゐる大使官邸前の死體も本署から直接は通知してゐないが朝日通り派出所員をして再三滿洲國側に通知し取除け方を督促してゐるにかゝはらず一向に引取つて行かないのはこまつたものだ、この邊の連絡は日滿連絡會議で充分徹底してゐる筈だのに、更に今一應督促して引取らせやう

朝日通派出所

當派出所から七馬路分駐所へ何回督促したがわからぬのにまだ始末しない、今後は當派出所が中心となつて取片附に係るやうにならなければ迅速に仕事は運ばぬ

誠に困つた問題
地方事務所に責任はない 山内、阪東兩氏談

右について新京地方事務所長代理山内地方係長は語る 行路病者の死体處置については從來兎かく遲れがちだつたゝめなるべく早くせねばならぬといふのでつひ此の間特別市政公署内で關係當局者全部が集つて會議を開いたもので事實そのまゝでありさすればそれが未だに實行に着手されてゐないと思ふ。地方事務所として死体の處置については直接關係はないが商務會に對しては棺桶代として何らかの名義で補助してゐるはずである、何にしろお話のやうに死体がゴロ〳〵してゐることは首都の體面からいつても誠に面白くないことでこれは至急取り片付けて貰ふことを衷心から希望する

なほ同事務所衛生係阪東主任は語る 死体は發見次第朝日通派出所に屆出ることになつてゐる、同派出所では首都警察廳および市政公署に通報するとゝもに一方附屬地の商務會に通知して棺桶を用意し貰ふことになつてゐるが死体が發見されると日滿兩警察の檢視があり、そのうへ商務會として棺桶一個三圓が一ケ年には三百乃至四百個もいるのだから經費の關係からオイソレと快く出かけて呉れぬため手間取つて思ふやうにはかどらず大抵は三日五日はかゝるのが普通のやうで自分の方としては直接何らの責任はない

一刻も早く取片づけたい 聯合婦人會某女史談

右に就き新京聯合婦人會の某女史は語る 從前からこまつた問題だと思つてゐました、折角滿洲國首都に躍り出た新京ですから理想からいへばこうした行路死亡者を出さないことにあるのですが實際はそう參りませんから死亡者があつた場合なんとかして一刻も早く取片づけていたゞくやう當局の方にお願ひしたいものです

内地總人口六千七百廿四萬人
時世を反映する都市集中

【東京十五日發國通】内閣統計局調査に依る本年十月一日現在内地總人口は十五日發表されたが、之に依れば人口六千七百二十三萬八千六百人にして前年同日の推計人口六千六百二十九萬六千人に比し、九十四萬二千六百人の増加である、右は國勢調査の結果に依る現在人口を基礎として、それに各府縣よりの人口動態報告等を參考として推計したもので、大体に於て實際の人口と大差はないものと見られる、而して男女別は男三千三百七十九萬六千四百人、女三千三百四十四萬二千二百人で男女夫々の增加率は大体均衡がとれてゐる、尚市部と郡部の比較を見ると市部は二千九十一萬四十八百人で前年度に比し百十一萬一千人を增加せるに反し郡部は四千六百三十二萬三千八百人と反つて十六萬八千四百人を減少し時世を反映して人口の都市集中の事實を物語つてゐる

街の日記

横田季春君入營

日本橋通廿五番地下野農園新京直賣所店員横田季春氏は十二月一日廣島電信隊輜重特務兵第九大隊に入營のため二十日午後十時新京驛發列車で入營の壯途につく豫定

東部衛生組合發會式

さきに規約の完成をなした新京東部衛生組合ではいよ〳〵十五日午後六時から祝町太子堂で發會式をなした、警察署長以下幹部の臨席、塚本新京醫院長等の出席あり塚本醫師の衛生講話、終つて映畫を一

般に公開した

槇醫院長令息結婚

新京祝町三丁目槇醫院長槇吉治氏長男精一氏は稻葉善之助菊名仙吉兩氏夫妻の媒酌に依り平壤醫專校長及川邦治氏長女幼子さんと來る十九日新京神社で結婚式を擧げ同夜賓宴樓で披露宴を催す

基督教女子青年會映畫會

新京基督教女子青年會主催の映畫會が開れる、十一月廿、廿一の兩日長春座で、映畫はウキルソン大佐製作の「猛獸」九卷併映として發聲漫畫二卷七萬人目撃者、八卷會員券一圓である

滿電のラジオ講座

滿洲電氣協會では一般家庭に於るラヂオ研究熱を滿す爲め新京放送局長が藤誠之氏を講師として來る二十八日より三日間新京高女校に於てラヂオ講座を催す事となつた、時間は毎日午後四時半より六時半迄の二時間で講義要目は

一、世界のラヂオ界
二、電波と其の擴り方
三、放送局と其の設備
四、中繼放送
五、ラヂオの受信
六、受信機の取扱方

等で會費僅かに五十錢頗る有益の催しとして期待されてゐる尚希望者は滿電協會駐京辦事處電話四九九四、又は滿電支店營業係電二〇九三、二二五六番迄に滿員にならぬ内急ぎ申込まれたいと

甘栗太郎にロボット

滿洲名物甘栗太郎の新京銀座街の專店に十五日物珍らしいロボットシエーシエ君が郎より入來ししきりに出入顧客に一〇〇パーセントの御愛嬌をして居るがトテモモダンの服裝をしたロボット君手にリンを振り〳〵目鼻口を動かし、「私しは甘栗太郎、ありますの毎度有難ふございます…」と言つた調子に道ゆく人々を驚かしてゐるが流石積極的營業の商店街中尖端を行く甘栗太郎商店變つたサービス方法であた、官敷くロボ君と初對面して其愉快さに會すべきを紹介して置く

カフエー營業主に訓辭

新京署保安係では十六日午前十一時から市内カフエー營業主を集め營業上に關する訓辭をなした

人形座けふから開業

新京雀連より期待せられてゐたカフエー人形座愈よ新築落成し十五日其の筋より許可證當夜關係官署幹部、新聞記者等招待披露宴も盛會に濟ませ華々しく開業した現在十余人の美給で相當なものたが更に近日雀連の希望を滿す爲め内地より一團の麗媛も到着キレイどころを以て自慢のサービスとあるが氣持よき新築大ホールは左黨の氣焰を滿すであろう

寄附

室町小學校二十五週年記念祝賀として同校へ左の寄附があつた十圓原金細工店二十圓乾寫眞館

盗難屆

▲花園滿鐵俱樂部内信森德一氏所有の現金九十一圓を洋服ポケツトに入れ自宅に掛けてゐるを十五日午後五時から九時の間に窃取された

▲千鳥町一丁目三番地北山京平氏所有の自轉車一台時價六十圓を十五日午後五時ごろ祝町二丁目吉芳質店前で窃取された

大林組の石工苦力小屋出火

十五日午後八時五十分ごろ關東軍司令部新廳舍建築場南側大林組工事現場石工苦力小屋から發火しアンペラ葺一棟を全燒し同九時二十分鎭火した原因損害は目下取調中である

他人名義の藝妓 氏名詐稱で處分

既報市内吉野町三丁目五番地料亭やよいこと大橋宮三郎氏抱へ藝妓梅香こと田村たつ子（一九）の氏名詐稱事件に就き新京署保安係では梅香を召致し取調べたところ梅香の言分では内地で金が欲くはあるが自分の名義では藝妓になれないと感違をなし中野すみ子に事情を述べ同人の戸籍謄本を借り藝妓になつたものであるが新京署では氏名詐稱のかどで營業許可を取消すことになる、同人の前借千三百圓をめぐつて樓主と一問題が起るものと見られてゐる

歌舞伎の至藝妙技觀客を魅了
初日から好評嘖々

十五日を初日に長春座に開演した東西名題合同大歌舞伎はまつたく久しぶりで歌舞伎らしい歌舞伎を觀ることが出來た入場者はすつかり大滿悦この一座を知らぬものは、四圓三圓の入場料に澁々といふかたちだつたやうに思はれたが、いよ〳〵その大がゝりなと充實したもので初日を觀たものはすつかり惚れこみこんな芝居なら毎晩でも見たくなつたと囁き交はされたに徵しても内容のよさが知れやう、盛綱首實驗では同情の渡を絞り、七福神引ぬきだんまりでは輕妙な振ごとゝ華麗な舞台に眼を瞠り茜屋半七ではまた涙を誘はれ、大詰の所作事、紅葉狩では燃ゆるやうな戸隱の紅葉、常磐津は、長唄竹本の出語りが三方に分れて二十數名、信濃路に、其名も高る戸隱の、山も時雨に染めなして、錦彩る夕紅葉…頃しも長月末つ方、世界も平の維茂は…と掛合ひの息もしつくりと觀客に固唾をのます、海老十郎の維茂、延見子の更科姫劍の威德に戸隱の…と幕切れまで鬼女に變じた延見子の奮鬪ぶり是非一度は見てよいものと思はせた、二日目今夜は初日と同樣、明十七日が二の替り、お目見得藝題以上に揃つた名狂言を上惱する

一、安宅の關 全一幕
一、松王丸下屋敷 全一幕
一、新作都心中 全二場
一、所作事羽衣 全一幕
一、所作事女郎蜘蛛振舞 二場

寫眞は三五郎の松王丸、明夜からの替藝題中、松王丸下屋敷

諸勇士全部の慰靈祭 十九日奉天で

十九日午前十時から奉天忠靈塔で獨立守備隊司令部主催の下に諸勇士全部の慰靈祭が執行されることゝなり新京地方事務所へも通知があつたので新京時局後援會では供花一對を靈前に供へることになつた

けふの銀相場

沙票對金票	一三二四五
現大洋對金票	一〇八圓七〇
國幣對金票	一〇八圓四〇
現大洋對鈔票	九六圓五〇

慶安異聞 艶魔地獄

(九十三)　(舞臺上演 映畫化)

玉水三郎
(繪) 長谷川小信

彥左の懸戀 (三)

『ナ、ナ、何が青山主膳の爲にだ。青山は町奉行も勤めた者、それが謀叛人餘類を見出したに何が不思議。青山主膳の爲に、何故成らんのだ』

加賀爪甚十郎、大久保彥左衞門に詰め寄つた。

隣にゐる久米の平内、彼はあの一件かと感づいて、靜かに此談判の模樣を眺めてゐる。

彥左衞門、悠々と、

『加賀爪、貴公は知らんな。あの青山主膳のなした所を……イヤ之は平内の聞く前で言ふも恥しい。我旗本仲間の密事であるが、今は據ないから、少々ばかり言つて聞かさう』

甚十郎は怒りが鎭まらず、袴の爪甚十郎。彥左衞門は餘語をついで、

『未だ〳〵青山に、良からぬ行ひがある。奴遊女の落籍されたを、途中無賴漢を賴んで、横取させたといふ一件。並に公用人相川忠太夫の行方不明の一件……さア之を洗ひ立てると、千五石の青山家は危ないぞ。此大久保が改めて主膳に異見などすると角が立つ。加賀爪お前なら丁度可い。一つ青山主膳に今日までの行ひを直せと異見してやつては吳れまいか』

甚十郎よりは彥左衞門の方が、青山一家の秘密を詳しく知つてゐるので、甚十郎遂に氣色が變つて來た。そして面目なげに、下俯向いて了つた。

久米の平内、氣の毒にもなつて其仲へ入つた。

『イヤ手前は初めて承はりました事。何が何やら一向存じませぬが……加賀爪氏には一途に御朋友を思はれての衷心。御老人に迫られた事は、日頃の御氣性と申し、左もあるべき事と憚りながら平内は存じまする。先づ今日の處は、一應お引取りあつて、能く青山樣とも御談合然るべく存じまする』

此一語を機に甚十郎も頷いて、

『イヤ拙者持前の一徹から、一方のみ聞いて御老體に迫つた事は、誠に以て面目ない……然らば大久保老人、青山に面會して、仰せの通りを申聞け、又お伺ひ致す事とする……御免』

彥左衞門してやつたりと、ニコニコしてゐる。

面目なげに立去つた甚十郎は、即刻其足で青山主膳を訪れて、此話をすると、主膳はイツかな承知しない。

娘をグイと握つてゐる。

『謀叛人高坂甚内の餘類といふは娘菊、八重の兩人のみと、あの町奉行青山主膳が吟味して、姉は奴奉公人、妹は奴遊女としたものである。然るに今日に至つて、甚内の孫十松、菊の良人小島三平ある事を知つたは、主膳の落度を今更洗ひ立てるやうなもの。之のみでも主膳の爲に、旗本仲間は庇つて隱してやるが人の情義である。又之を荒立てゝ、主膳の落度を擧げてまでも、天下の掟を明かにせんとなら先づそれも可からうが、然に困るはお菊を己が家へ奴奉公人として引取り無給金で追ひ使つた末無體があつたとかで、斬捨てて了つたといふ事實だ。之は世間へ聞えたら、餘り立派な主膳の振る舞とは申されんぞ。此故に彥左衞門は謀叛人餘類召捕は、青山の爲にならんといふのだ』

理の當然にぐつと行詰つた加賀爪

獨逸の大豆需要は殆ど減るまい
制限がなければ漸次增加
大使館を經て吉報

豫想される滿洲大豆の需要が增大するとも減少することは先ずあるまいと言ふ吉報が大豆、豆粕の老顧客國たる獨逸から到着して

「關係」方面を喜ばせて居る、此の報告は在伯林の日本商務官から駐滿大使館を經て滿洲國側へ傳へられたものであるが內容々旨下の如くである

豆粕は獨逸が要需する家畜並に植物性油脂の比率上最も理想的原料で而も安價なる上利用の範圍が廣いので大いに歡迎されて居る、即ち過去四年間の統計を見るに他の植物性油脂が年々其使用量を減少してゐるにも拘らず大豆のみは漸次增大して居る事實が之を證明してゐる。獨逸政府に於ては自足自給の根本國策を樹立する爲外國品の

「輸入」を制限したのではあるが他のものに關しては兎も角大豆及豆粕に至つては國內に於て之に匹敵する代用原料なく又他國から之に代るべきものを求めることも出來ない實狀にあり、從て營に輸入制限不可能なるのみならず關稅引上の懸念も殆んどないのである、一九三三年度に於ける大豆輸入量は合計百十八萬七千噸であるが內百十四萬噸は滿洲大豆で他は米國の四萬二千噸、蘇聯僅かに五千噸と言ふ割合である、大豆及豆粕は獨逸に於ては農村の重要事業たる乳牛の飼料として絕對必要であり、殊に代用飼料なき嚴寒期に入つては其使用量激增する

「必然」で現在の生產及輸入狀況を以てしては不足を來し價格も激騰することは火を睹るよりも明かである、從つて政府は大豆及豆粕に關する限り農村の困窮を緩和救濟する意味に於ても現行取締法を廢止又は變更する外ないと見られる、之を要するに大豆豆粕の需要はこれを自然に放置すれば次漸增加すべきも政策上の制限もあり大体に於て現狀維持最惡の場合に於ても二割五分以下に減ずることは先づあり得まいと觀測される云々

滿鐵辭令

カ久タカテ

新京室町小學校訓導に任す　准備　木村義見

甲備員を命す新京保線區工手

新京鐵道事務所工手　甲備　町田三郎

新京保安區電氣方　甲備　水町種明

同　秦子政廣

同　島根芳雄

新京保安區保安方　甲備　齊藤潤

技術方を命す（各通）

新京保安區電線方　甲備　中西平次

同　石塚繁藏

電氣工長を命す（各通）

新京驛連結方　甲備　佐藤繁雪

臥龍泉信號場轉手を命す

石川與一氏 十八日朝赴任

元新京署勤務石川與一氏は今回滿洲國吉林省敦化縣公署督務指導官として聘せられ十八日午前九時四十五分新京驛發赴任することとなつたので十六日赴任挨拶のため本社を來訪した

堀內幸治氏 警察署長に

新京總領事館農安分館警察署駐在警部堀內幸治氏は十四日付で農安分館警察署長に補せられた

對米爲替遂に卅一弗臺

（東京十六日發國通）本日の對米爲替は寄付三十一弗丁度、三十一弗四分ノ三買と遂に三十一弗臺乘りを示現した

海軍被告收容

（東京十六日發國通）五・一五事件海軍被告中、禁錮十五年を言渡された古賀、三上、十三年の黑岩同じく十年の中村、山岸、村山の六名は本日午前海軍刑務所を出所、東京小菅刑務所へ護送收容された

石田侍從武官 十八日朝來京する

要務打合せのため渡滿の途についた石田侍從武官は十八日午前七時新京着列車で來京し滿洲國要人並に各機關を訪問し國都建設の情況を視察二十一日午前九時新京發列車で南行の豫定である

米ソ復交停頓
大統領も自重方針で
一部ではその成否も疑はる

（東京十六日發國通）外務省着情報に依れば米露復交のルーズヴェルト大統領とリトヴィノフ氏との交渉會談はルーズヴェルト大統領が愼重を持し停滯して居り

「一部」には復交の成否さへも疑つてゐる、即ち大統領は十七日ウオモスプリング温泉に行くのでリトヴィノフ氏との會談もそれ迄に終了する旨白堊館より公表されて居る新聞に依るとリトヴィノフ氏と大統領との會談は形式的で直ぐ承認し他の諸懸案は後日に委ねるものと期待したるに大統領はこれに反し後日紛議の起らぬ樣確約せんとし八億弗の對露舊債權の言質を得んとしてゐると觀られ、又一部にはアメリカ側は對ソ輸出金融の爲め

「資本」金四億乃至五億弗の會社を設立すべく審議中だと傳へられてゐる

更に遲延し來週に持越か

（ワシントン十五日國通）リトヴィノフ氏は連日ル大統領ハル國務長官と米ソ兩國の國交回復問題に就き協議を遂げてゐるが先づ米政府の承認を求め樣とするリトヴィノフ氏の主張と共產主義宣傳問題等の重要懸案に就き豫め諒解を得樣とするル大統領の意圖とが容易に相容れず、米ソ復交交渉は更に永引くものと觀られるに至つたル大統領は十五日午前もリトヴィノフ氏と會見し重要協議を遂げたが會談後來る十七日までに交渉が片付かなくとも會談が決裂したことを意味するものではないと言明した右ル大統領の言明に徵すれば米ソ復交交渉は更に來週に持越される形勢である

日印會商の前途依然暗澹
印度側重要點で讓らず

（デリー十六日發國通）十五日の會議で印度側は表面妥協的と云はれてゐるが繰越し問題印棉足踏み問題及び綿布品種間の融通性等の枝葉末節を讓步せるのみで日本側の最重要視せる

一、綿布の品種別を二種とする

一、印棉最高量を百卅七萬五千俵とする

點は全然拒絕し、步み寄らず即ち此の點につき印度側で前回通り

一、綿布を四種別とす

一、印棉最高買付量を百五十萬俵とすること

との主張を固執し實質的には何等進展を見ず之で印度は之以上の讓步はせぬ事が確實となり我が代表部では十八日の會議に採るべき態度につき本國政府に請訓した

尙リトヴィノフ氏が不可侵條約を提議したとの說行はれこれは不戰條約ある故無用だとし反對盛んであり前國務次官キャッスル氏等は承認反對の聲明をなしてゐる

東株理事長 井坂孝氏最有力

（東京十六日發國通）東株では十五日午後四時重役會を開催岡崎理事長は今明限りで辭任したき旨正式に表明した、後任としては井坂孝氏が最も有力視され之に次ぎ鈴木島吉、藤田謙一氏等が擧げられてゐる

御下賜品 大連着

「大連十六日發國通」畏き邊りより在滿各部隊將兵に賜はる御慰問の御下賜品二百三捆は十六日午前九時三十分入港の「うすりい丸」で大連に到着直ちに陸軍運輸部出張所指揮の下に埠頭在鄕軍人分會員の奉仕に依つて陸揚げを終り、埠頭にて貨車に積載新京より受領の爲め出張せる管理部附西川大尉付添ひの下に關東軍司令部に向け出發した

八八艦隊以來の新記錄
九年度軍事費豫算
十億に達せん
藏相も最大限の容認を決意

（東京十六日發國通）軍事費豫算に關する高橋藏相の最後的裁斷決定は愈よ十六日下されることとなつたが、藏相は一九三五、六年の國際危機を控へて國防充實は緊切なる必要を有して居るのみならず、國內政治情勢から見ても軍事費の膨張は避け難き趨勢にあり之れがため一時的に財政の惡化を來しても已むを得ずと決意し

「此の」見地から軍事費の三大重點即ち陸軍の資材整備費、海軍の第二次補充計畫、艦艇改裝費に對しては軍部當局として最も要求貫徹に力を注いで居る、斯かる點に着眼し之に對しては主計局案より相當增額して軍部の要求を容認し、以て豫算編成の圓滿を期せんとしてゐる、藏相の意向が右の結果として軍事費豫算は相當膨張する事は疑ひないが更に軍部當局としては最初の豫算閣議に提出する大藏省査定案に全然滿足して此のまゝ承認する筈なく

「强硬」なる復活要求によつて更に大藏當局の一奮發を求めるであらうから結局九年度軍事費豫算は八年度の軍事費豫算總額八億五千萬圓を遙かに突破し往年の八八艦隊豫算以來の新レコードを作るべく恐らく十億圓に達するものと觀られて居る

閣議上程はけふの午後か

（東京十六日發國通）明年度豫算の中心をなすべき陸海軍兩省の軍事費の裁定に關して大藏省主計局は豫算編成に着手して以來全力を傾倒して兩省經費要求の理由と內部外情勢との相關々係の

「糺明」に未曾有の愼重なる調査研究を重ね、更に豫算省議に入つても事務當局は極めて綿密周到に査定の經緯を說明し、最後に高橋藏相に之が裁斷を一任するものであるが、藏相は事務當局側の二日間に亘る說明と五相會議の申合せ其他一般情勢を考慮に入れ、更に首相とも會談して愼重熟慮を重ねた結果十五日午後漸く成案を得るに至つた、依つて藏相は同日午後三時黑田次官、藤井主計局長を官邸に招致し約一時間に亘る裁斷の大綱を

「提示」し種々凝議する所あり、主計局に對して裁斷案に基く軍事費の計數關係に就て再調査を命じたので右調査が十六日午前中に完了するのを俟ち改めて省議を開催調査の結果に基づき藏相より最後の斷案を下す事になつたが、十五日の會議で已に大綱決定を見るに至つたので調査の結果が藏相の豫想通りとなればこれで大藏省の明年度豫算は確定する譯である、尙は十六日に最後的決定を見るも計數整理、印刷等の關係で第一回豫算閣議は十七日午前中に開催する事は困難の模樣で多分同日午後となるらしい

けふから三日間に記念のお祝ひ
午前十時記念式に引續き
室町校の廿五周年

創立二十五周年記念を迎へた室町小學校で十七日記念日の當日盛大な記念式、祝賀會展覽會、映畫會を舉行することになつた、十七日午前十時から記念式引續いて謝恩會、（父兄會主催）午後零時から祝賀會午後一時から三時まで展覽會、映畫會が行はれ十八、十九、兩日も午前九時から午後六時まで音樂會、展覽會、映畫會を一般に公開することになつてゐる、なほ十八日の音樂會は三年以下幼稚園兒のため公開なるだけ低學年の保護者向き、十九日の音樂會は高學年の保護者向きであると

特に目をひく各種の催し物
校內に食堂も開店

展覽會場には同校兒童が懸命になつて旬日を要して作つた手藝品、圖畫、書方、手工作品が陳列しあり、中でも參覽者の目を引くものとして內地各縣小學校から送られた兒童作品（圖畫書方手工）二千余點沿線各小學校からの作品七百余點である最後に家政女學生（高等科女生）主催のバザーでは手藝品には和服、手藝、裁縫食堂には菓子類、ゼンザイ、赤飯、コーヒー茶、おすし等々の店が出てゐる

卒業生の參列歡迎

室町小學校卒業同窓生も數多くあるも住所不明の者多く一々案內通知の出し樣のないため別に案內狀を出してゐないから新聞紙上を通じて同窓生諸兄姉に對して御々母校の創立記念式を盛大ならしめて下されるやう學校から依賴あつた

海軍の新威力 潛水母艦大鯨
無事進水式終る

（橫須賀十六日發國通）我國海軍に一威力を加へる潛水母艦「大鯨」の進水式は小雨降る十六日午後二時四十五分から橫須賀海軍工廠で舉行され、海軍大角海相、軍事參議官、海軍諸將星、橫須賀鎭守府司令長官永野中將、其他朝野の名士約二千名、これに十萬余の拜觀人の看視の中に「大鯨」は海軍々樂隊の行進曲と共に船臺を辷り出し、飛沫を上げて海上に巨体を浮べた、歡呼の聲拍手の嵐、斯くて三時過ぎ無事進水式は終了した

金融

中央週報

滿洲中央銀行紙幣及び鑄幣發行每週平均額表は左の如し

（自大同二年十一月三日　至大同二年十一月九日）

△紙幣發行額　一三三、三三一、七九一圓九一錢

△準備　六〇、三三一、七三〇圓六八錢

△保證　四八、九九一、〇六一圓二五錢

△鑄幣額發行　八九八、四〇八圓毛錢

探金會社と信託會社を
國際銀公司が滿洲國內に創立

（東京十九日發國通）元滿鐵總裁故早川千吉郎氏の設立した國際銀公司は、今回滿洲國政府より探金會社及び信託會社創設を承認されたので愈よ近く事業を開始することに決定東京丸の內郵船ビル內に事務所を、滿洲國內に營業場を設置し、右兩會社設立の爲め資本金一千萬圓を募集することになつたが、其中五百萬圓は信託會社に、百萬圓は探金會社に投資し、殘額四百萬圓は商品市場、鐵道に並行せざるバス營業に投資する他、債券發行證據金及び設立費に充當する筈で右探金會社及び信託會社は滿洲國內に各別個に株式會社を設立することになつてゐるが同社は先づ既得權利たる割當金付債券の發行を計畫中で之が方法は先づ天津で債券を發行し北平、青島、濟南、上海、其他長江一帶廣東南洋、印度等にて賣出しコンプラドル、錢莊、其他內外の銀行が引受け賣捌くものである

大連の卸物價

大連における十月分の卸賣物價を重要商品五十種に付き調査するに概要次の通りである

一、前月に比し一分一厘騰貴

一、前年同月に比し八分七厘騰貴

一、昭和五年一月に比し指數九十九即ち一分下落

一、昭和六年十一月に比し指數百三十七、七即ち三割七分七厘騰貴

前月に比して騰落した品目次の如し（二十七種）

騰貴の分（十四種）疊表一割六分七厘豚肉一割一分一厘杣田紅葉七分七厘牛肉五分三厘杣丹白松一割一分一厘亞鉛引鐵板一割一分雞卵九分四厘木炭七分七厘洋釘四分二厘丸晒三分二厘洋紙三分一厘毛絲內地物二分四厘晒木綿一分六厘白砂糖一分物五分角砂糖四分五厘麥粉三厘

下落の分（九種）醬油滿洲甲萬一割一分一厘醬油滿洲寶船印三分七厘氷砂糖三分二厘蒲團綿二分八厘小袖綿二分四厘麻袋鐵筋一分六厘麥粉鶴印九厘

南分省長 軍司令官訪問

興安省南分省々長業喜海順氏は本署へ省政一般報告の爲め來京中であるが十六日午後一時總長齊默特色木丕勒氏と同道關東軍司令部へ菱刈司令長官を訪問し南分省の一般情勢を報告するところあつた

草河一帶に機械水田計畫
滿洲國と諒解成る

滿鐵農務課では鳳城縣第一區草河一帶の農地二百町步を購入し、本年八月より機械水田を開拓すべく計畫し、鳳城縣長及び同縣參事の諒解を得べく奔走中であつたがその後農務課では新京中央及び奉天實業廳と折衝の結果諒解を得たので更に去る一日奉天實業廳係員及び滿鐵農務課長は鳳城縣長及び同參事を訪問、中央部及び奉天省實業廳の諒解を得た旨を述べ關係地主及び小作人を召集して意見を聽取した結果滿鐵が買收費として十一萬三千圓を支出すると共に該地主及び小作滿人の勞働優先權を認めることとなり去る十日鳳城縣公署、鳳城縣長、同參事官、滿鐵側より安東地方事務所長等參集覺書を交換した

四平街

闞朝山氏 北支へ向ふ

滿洲國建國前後梨樹縣自治執行委員長として建國運動の中心人物としてまた彼の舊軍閥專政時代の熱河特別區域の最高權威闞朝璽氏の兄として周知の四平街在住闞朝山氏は世界紅卍字會の要務の爲めと稱し十四日午前十時五十分四平街驛發大連經由にて天津北平方面に向つた

一行は四平街胡煥章、劉雲五、魏雅風、張世臣、李珍齊等氏の知名人士及通遼よりの四名と隨員五名計十五名であつた

辻强盜現はる

十三日午後四時頃四平街東北方約二五支里梨樹縣四家子附近に各自棍棒を所持したる二名の强盜現れ折柄乘馬にて通行中の農民趙又忠氏を脅迫、馬一頭、價格金二十圓を强奪の上毆打北方に向け逃走したさ

地方巡回映畫會

四平街地方事務所社會部では滿鐵從業員家族慰安の目的を以て左記日割で十六日より地方巡回映畫會を開催中である

十四日　十家堡　十五日　楊木林　十六日　蛇牛哨　十七日　桓勾子　十八日　双廟子

日系官吏が ―これは驚ろく 公費の滞納振り
實に全体の八割三分方 當局手を燒く

納税は國民の三大義務の一つだ位は誰しも心得てゐるはずだが、それがいつまでも實行されずに手を燒かせてゐるのは滿洲國日系官吏の公費滞納問題である、それはこと滿洲國官吏の問題にかゝるので特に日滿關係などを考慮し、世間は兎かく遠慮がちに今日に及んだのである、果然十五日の地方委員會では端しなくもこの問題が議題に上り、地方事務所當局の説明を聽くとゝもに今後この問題に對して極力當局を後援し圓滿解決をはかるべく申合せたがこの問題の内容は聽けば聽くほど誠に苦々しい限りである

賦課金額に對して 五割七分五厘
過年度はもつとく甚だしい

新京地方事務所公費係の調査によると過年度は兎もかく本年度のみについて見るも九月末現在の賦課額六萬六千七百六十六圓、うち實際『徴收』額五萬九千百七十六圓二十七錢、差引七千五百八十九圓八十九錢が未徴收(滞納)といふことになつてゐるこのうち日系官吏の滞納額は幾らに上つてゐるかといへば實に六千二百七十七圓十錢で全體の八割二分七厘強といふ途方もない滞納振りである

なほ更に賦課額と滞納額を比較して見ると本年度滿洲國官吏以外に課したもの五萬八千八百一圓九十三錢、その未徴收はタッタ千三百十二圓七十三錢であるが一方日系官吏は賦課額一萬九千四圓十九錢に對し『未徴』收六千二百七十七圓十二錢といふのであるから、實にお話にならないもので地方事務所に取つては最も大きな惱みの種になつてゐるのも無理のないことだなほこれを賦課金額に對して五割七分五厘の滞納であるがなほ過年度においては一層甚だしく六割八分九厘、即ち約七割方にも及んでゐる、この數字によつて見るも如何に日系官吏の公費滞納が著しいかは一目瞭然だが、これが滿洲國成立以來今日に至る久しい問題であり『最初』はなほ一層甚だしく當時課せられた公費を納めるものは僅々二割方にも過ぎず、地方事務所では幾度かお百度を踏み口を酸つぱくして徴收に努めた結果漸く今日の程度によくなつたといふのであるから實にその滞納振りは誠に徹底したものである

滞納側の言分
「滿鐵社員に較べて高過ぎる」 實際はどんなもの?

さて、滿洲國日系官吏に限つて何ゆえ斯くも公費の滞納をするのか實際徴收に當る當局者について聞いて見ると滞納者多數の言分は滿洲國官吏への課税は滿鐵社員などに較べて高きに失するといふにある、それは『俸給』額によつて賦課されたものであるが、滿鐵社員には社宅があり、或は散宿料の交付はあるが滿洲國にはそれがない、また例へば滿鐵病院に入院するにしても滿鐵社員にはそれぞれ特典がある、それを一樣に日系官吏にも同額を賦課することは不合理だといふのである、これは一應尤ものやうではあるが、これがため地方事務所では散宿料に相當する金額の二割を控除することに昨年六月から實施してゐるはずで、病院などの『問題』は滿鐵社員自ら俸給の一部を割いて出資し濟生會の名儀で特典を得てゐるので特に附與された特典ではない、

而かも滿洲國官吏には散宿料その他がなくとも事務加俸とか職務加俸の如きもあるのでそんなことはてんで問題でない、何にしろ金額の八割を控除したものが現在納附すべきものとなつてゐるのだからこの際多少の御意見はあつても快くおさめて貰ひたいといふのである

こちらでもいろく考慮
地方事務所當局談

右について地方事務所長代理山内地方係長は語る

どうも困つた問題です、この問題については此方でもいろく考慮し俸給の二割を控除したものに『賦課』しやうといふことになつたものである、係員もお百度を踏みいろく説明申上げたところ次第に諒解して下さる向きもあるのですがまだまだ全く思つたやうには參らない。當所としても納めてさへ頂けば文句はない譯でなほ無理がないやうにと思つて賦課額についても考慮しまた國幣と金票の不便があるため國幣で頂けるやうにでもしやうと目下本社へ手續中である

また實際その事に當る三浦公費係主任は語る

隨分情ないと思ふ目に遭ひますが『別に』先方ばかりを責めるわけではありません、納得して納めて頂ければこれに越した喜びはないわけで、この冬からはうんと足繁く出かけて公費の性質なり吾々の立場をよく諒解して貰はうと思ふ

劍もほろゝで 係員を突放す
中銀は一番宜しい

なほ滿洲國政府の名官廳について見ると最も峻嚴であるべき司法部、參議府、軍政部などに『相當』多いのは殊に注目すべきだが、中央銀行、統計處などは至つて成績よく殊に中央銀行の如きは附屬地内の銀行會社にも勝るものがあり、係員が出かけても實に親切丁寧で勿体ない位だと感激して歸る位である、また一方個人々々に就て見ても中には實にきちくと――それが當り前だといへばそれまでだが――と納付に來るものも尠くないが滞納者の多くはまるで高利貸にでも引掛つたやうに實に劍もホロロの挨拶でさんに説明しても判らず中には「自分は滿洲國の『官吏』であつて附屬地にはちつとも厄介をかけてゐない、たゞ附屬地から城内へ往復するだけだ」といつて何うしても取り合はぬ堂々たる官吏があり、お百度を踏む係員も物がいへず泣きの涙で歸つて來るといつた始末である

塵芥處理其他 取締りを徹底
山内係長が大童で

十九日の地方委員會で勘崎委員その他から問題となつた消防隊の塵芥處理その他滿鐵圖書館內裏手の無斷建築、新京神社内の通行嚴禁などについては常の地方事務所でも從來幾度か關係者に注意して來たが徹底を缺いた憾みがあり遂に今日に至つたので當局でも委員會の注告に鑑み此際、これが取締の徹底を期することとなり十六日は消防隊係員を招致して今後一般の非難のなきやう更めて注意し滿鐵圖書館に對しては早速木造建築を取除けるやうまた新京神社に對しても同樣注意方を促した

放置死体の跡始末 七つだけ終る
あとの二つはまだ裸のまゝ

新京附屬地の行路死亡者死體放置問題は當局の無關心さ共に『漸く』市民から非難される狀況に立ち至らうとしてゐたが本社の事實に基く報導に首部警察廳衞生課から新京署に紹介あり、新京署また係員を督勵十六日朝來死體處置に努力の結果、十六日午後零時二十分に至り朝日通り派出所員は長通路警察署七馬路分駐所員と協力馬車二台を用意市内に散亂する納棺濟みの七つの死體のみをそれぞれ始末したが、なほ棺が間にあはず二個は納棺もされずそのまゝと放置されてゐる、朝日通派出所員の述懐する處によると今後はどうしても朝日通派出所に棺を『用意』して發見次第取りかたづけるやうにしなければ萬全を期することは出來ないと

北鐵南部線 時刻改正

北鐵南部線では列車發着時刻を左の通り改正された

第四列車新京驛發午前八時三十分ハルビン着午後二時十分 第十二列車新京驛發午前十一時ハルビン着午後七時五十五分 第三列車ハルビン發午前九時三十分新京着午後三時二十五分、第十一列車ハルビン發午後零時十分新京着午後九時二十分

なほこれと同時に北鐵東部線にも列車發着時刻改正が行はれた

感狀
野村輜重兵伍長へ

關東軍司令部では十六日左記のごとき感狀を發表した

感狀

關東軍自動車隊第二中隊 陸軍輜重兵伍長 野村利雄

右者昭和六年末關東軍第二野戰自動車隊の一員として渡滿以來或は錦州、哈爾賓、方正等の攻撃に或は黒龍江省、東邊道、吉林省東境方面の討伐に或は大興安嶺の作戰等に參加して屢々武勳あり

昭和八年二月熱河作戰の開始せらるゝや當時伍長は上等兵なりしが選ばれて分隊長となり臨機編成せられたる自動車第四中隊に屬し混成第十四旅團の兵力輸送に任ず二月二十六日勇躍綏中を出發率先難に赴き克く部下を鼓舞指導して遺憾なく自動車隊の能力を發揮し乘車部隊をして機に投し戰場に到着するを得しめたり

殊に三月二日凌源に向ふ追撃戰に當り新に尖兵となりし歩兵第二十八聯隊第五中隊を搭載し先頭に在りて前進し三河東方大淩河橋梁の燒却せられつつあるを見るや彈丸飛雨の間沈着克く渡河點を偵知して進路を求め又小河灘附近に於て凹道の阻絶しあるに會するや單身敵の十字火を犯し阻絶の岩石を排除して進路を開き尖兵をして神速に淩源に進入するを得しめたり

飽迄の如く伍長か阻絶を排除して再び乘車せんとする刹那不幸敵彈に斃れしと雖も其の沈着勇敢終始一貫せる犠牲的精神の發揮と機宜に適せる行動とに依り凌源占領に寄與せる功績は抜群にして是軍人の範とするに足る仍て茲に感狀を授與す

昭和八年三月四日 關東軍司令官 武藤信義

ドリヴイエ氏 滿鐵との覺書
假調印は本月末か

滿鐵首腦部と折衝の結果覺書を作成した佛國經濟發展協會代表アンドレドリヴイエ氏は横山洋氏と同道本十六日午前十一時半再度飛行機で來京、大和ホテルに投じたが、右折衝にかかる滿鐵との共同出資に依る日佛對滿事業公司(資本金十萬圓宛出資)の細目的方面に就き駐滿大使館、軍特務部を訪問諒解を求める筈である、尚滿鐵との假調印は本月末と見られるが假調印と同時に双方作成の覺書を交換し、その内容を公表する豫定である

無電の王 マルコニー侯
夫妻横濱着

(東京十六日發國通)無電の父伊太利のマルコニー侯夫妻は正午秩父丸で横濱着、直ちに東上した、聞く處では、マルコニー侯が我國無電界に貢獻した偉大なる功績に對し勳一等旭日章を贈らせられることとなつた

嬰兒の死体
三條橋下に投込み

十六日午後四時十分ごろ市內東三條通三條橋々下に生後一週間位の嬰兒をアンペラに包み見るも無慘に投げ込んであるを通行人が發見し直に新京署に届出た、同署から係員が現場に急行、檢視したが嬰兒は殺人と見られてゐる

京中の保護者會

新京中學校では十六日午前九時から第一回保護者會を開いた、午前中授業參觀、午後零時半から一時間に亘り矢澤學校長から情況報告説明あり、續いて擔任教師から個人的に報告注意あり二時半終了した 出席者六十五名中にはハルビン、公主嶺から出席した熱心な父兄あり好成績をおさめた なほ同校ではこうした保護會を今後一學期に一回位開く豫定である

人形座の開店

新京東二條通り、モナミの差向ひに今度新らしくカフェー人形座が看板をあげた、その外觀內容特にスマートな裝ひモダン新京の名物としてもふさはしいカフェー黨に取つては此上ないものである、女給さん達も人形座の名にそむかず若く美しいところを並べて行儀よくサービスしやうといふ主人公の趣向らしい、十五日開業同夜同業者その他を招待して盛んな披露宴を張つた

大岩、米田兩氏 送別會

大連榮轉に決した聯合支局長大岩和嘉雄、滿洲日報支社米田務市兩氏の送別會は十五日午後六時よりすし竹に於て日本記者協會員有志二十名出席の下に開催し盛會裡に八時散會した

吉凶禍福

▲西公園大林組出張所内春日駿氏十四日午後四時死亡
▲花園町三丁目三十七號ノ三福島靜子さん十四日午前七時五十分死亡
▲吉野町二丁目番地渡邊綱賢氏十四日午前十一時八分死亡

居住消息

▲右田一馬氏(熊本縣人)日本橋通り四十八番地へ
▲山口留一氏(佐賀縣人)永樂町三丁目廿一番地加藤方へ
▲後藤一郎氏(岐阜縣人中央觀象臺長)仁川から朝日通り六十一番地和ホテルへ
▲北村藤三郎氏(滋賀縣人)永樂町三丁目大昌洋行へ
▲鹽崎源吾氏(靜岡縣人滿鐵社員)敷島通り五號ノ五へ
▲藤垣義盛氏(鹿兒島縣人)花園三丁目五番地四十七號ノ二
▲河内猪之介氏(兵庫縣人)大連から羽衣町二丁目二百五十一番地へ
▲木下莊氏(東京人滿洲セルローズ株式會社員)永樂町一丁目四番地
▲山口直太郎氏(青森縣人滿鐵社員)虻牛哨から新京驛運轉所へ
▲日高貞次氏(宮崎縣人材木商)安東から朝日通り七十一番地へ

轉居

▲猿丸綾雄氏大和通り一番地から祝町二丁目二十二番地へ
▲吉岡龍作氏和泉町二丁目二十六番地から花園町三丁目二十八號ノ一へ
▲野見山義光氏吉野町一丁目五番地から永樂町三丁目十六番地へ
▲武知俊幸氏新發屯から永樂町三丁目二十五番地へ
▲池田欽一氏(大連新聞社員)中央通り十番地から永樂町二丁目四番地へ
▲石黒繁氏羽衣町一丁目百九十四番地から花園町二丁目九號ノ四へ
▲片淵儀内氏曙町四丁目十番地から花園町四丁目一番地へ
▲濱組芳右衛門氏露月町二丁目三十一ノ一から花園町三丁目五番地四十四號ノ四へ
▲白出久信氏永樂町二丁目八番地から八島通り二十四番地へ
▲緒方市雄氏東二條通り五十三番地から永樂町三丁目二十一番地へ
▲片山敬三氏入船町二丁目二十八番地から曙町四丁目十一番地へ
▲中村千秋氏羽衣町一丁目二番地から白菊町二丁目三番地へ
▲小田一夫氏常盤町三丁目十一號から白菊町二丁目五號ノ二
▲平岡清一氏露月町二丁目三十一號から花園町三丁目三十三號ノ三
▲村上肆一氏常盤町一丁目十番地から花園町二丁目十九號へ
▲森義一氏蓬萊町一丁目十五號ノ二から白菊町二丁目七號ノ二へ
▲小松原量平氏敷島通り三ノ四から花園町三丁目三十八號へ
▲北林忠三郎氏千鳥町一丁目七番地から白菊町三丁目一番地へ
▲脇武夫氏日出町一丁目十四番地から大連へ

廣告と圖案の話（四）

鳳三堂主人

新聞廣告に關する圖案の話しのみでも簡單な、其上禿稿では到底滿足を得ることは出來ない、それ程に廣く奥行きの深い六ケ敷いものであるばかりでなく絶へず進歩向上を續けてゐるからであります。新聞廣告に引き續いて最も手近で最も多く應用されてゐる引札廣告に就いて話しませう

引札（サーキユラー）廣告は費用も案外少額で出來、商賣に依つては自店を中心に或は近所に或は市内一圓に自由に目的を達し相當効果的のものであつて恐らく一般向宣傳方法としては第一位でせう

私がこの春、正確に言へば本年三月十四日午後八時新京着の鳩號で來て、新京市民の一人となつてから當時新聞を讀むに當り、どの新聞も極まつたやうに折込み引札の入つて居無かつたことがない位いで多い時は一枚の配達殘に數枚の引札が嵩張つて折り込まれてゐる有樣で、不幸にも未だ仕事を始めず遊んで居た時とて商賣柄、これ等いちいち耽ゐに而も樂しみにして見せて貰ひました

この新聞折込みの引札を忠實に讀まれて居るでせうか人に依つては初めから邪魔もの扱ひをして居りはしないでせうか例へば順手でグルグルつきまるめてポンと投げ出す如き或は無意識につまんで讀めない子供等のおもちやに押しやるなど、實に失敬千萬だが無いとは言へないでせう

尤も落ち付いた人々は新聞を讀んだ後この折込み引札を見る人もあるでせうが、斯樣に云ふと新聞折込業者の方々には甚だ相濟まぬことになりますが一方必要なニユースである新聞記事がある以上また止む得ないでせう

處でその引札なるものが活字組み込み廣告が主であつて偶に二三度刷りの美麗？なものも見懸けましたが折角の色刷引札も殆ど木版刷りが多く其の上紙質やインキの注意が足りないのかじとむさく引立たない事夥しい、前項に述べたやうに木版そのものが不完全の爲めに止むを得ぬことと思ひます

新京輸入組合

十月分成績

一、貸付及回收　本月中貸付額一四〇件金十一萬二千百三十七圓也、回收額一四七件、金十一萬三千八百四十一圓也、本月中殘高一二九五件、金二十五萬五千七百九十四圓七十五錢也

二、仕入先
一、現地金六萬二千九百十八圓也
二、内地金三萬八百七十八圓也
三、大連金一萬九千三百四十一圓也
四、合計金十一萬三千一百三十七圓也

三、組合員特口數　十月末現在組合員一一〇名、普通出資口數三一四六口、特別出資口數八八五口、合計四〇三一口

四、出資拂込額　十月末現在出資拂込額金十五萬七千三百圓也、特別出資拂込額金四萬一千六百三十八圓二錢也

五、購買傳票　本月中取扱高金一萬七千九百五十三圓四十二錢也、取扱店數八五店使用個所六五ケ所、使用人員八九九八名

非常時日本に女性の目覺め

基督教女子青年會　近く新京にうぶ聲をあぐ

非常時局をただに男子のみにまかせておけぬとあつて女性の愛と涙と眞實によつて男子と伍して非常時日本を貫くべく今度新京基督教女子青年會が生れた、十九日午後二時から中央通り日本基督教會堂において創立總會を開催するが當日は文教部學務司長上村哲彌氏から「女子青年の使命」の講演もある、なほ同會では成立後の事業資金募集のため二十一、二十二日の兩日映畫の夕を長春座で催すことになつてゐる

北滿のペスト漸次下火

【奉天十五日發國通】北滿に於けるペストは當局の決死的防疫により漸次下火となりつつあるが鐵路總局に於ては洮昂（鄭家屯、太平川間）大通、鄭通各線に於けるペスト流行に依る旅客の手荷物の取扱制限を近く撤廢することとなつた、但し農産物其他貿易上面白からぬ貨物に對しては依然從來通りの制限を設くる由である

不逞鮮人潛入説に

大連水上署警戒を嚴にす

【大連十七日發國通】最近來滿した朝鮮人參行商の語る處に依ると韓國獨立團幹部で四川省方面に避難隱遁中なりし崔錫淳は目下天津佛租界に潛入し上海方面へ避難中なりし同志朴龍泰と共に民族主義者を糾合し近く華山線に依り同志を滿洲國に派遣し東邊道方面に潛伏する朝鮮革命軍總司令梁瑞鳳及び不逞鮮人、大刀會匪等と合同し滿鐵線及び沿線各地機關を破壞し滿洲國民衆の反日滿運動を煽動すると共に鮮人民會の組織する各農商會金融機關等を破壞する外五六名より成る暗殺團を組織し各地方に派遣し日滿要人及び親日鮮人を暗殺すべく企圖しつつあるが右は一人參行商の口より漏れた事で信用するに足らざるも大連水上署に於ては天津方面よりの入滿鮮人に對して嚴重警戒の眼を注いでゐる

旅客事務競技審査

去る十月二十六日公主嶺で行はれた新京鐵道事務所管内の旅客事務競技會は同競技會規程により審査した結果左の通り發表された

△小荷物競技
一等　白仁田準司（開原）
二等　足立　宮松（新京）

△出札競技
一等　角田　久雄（新京）
二等　磯野　玲瓏（四平街）
三等　鈴木　美厚（公主嶺）

なほ競技は概して良好の講評があつた

ブラジルの日本移民歡迎

【東京十五日發國通】ブラジルの日本移民歡迎により海外興業會社を通じて明年ブラジルに移住を許可される日本移民は、今年の二萬五千八百名に對し三千百名を增加し二萬七千一百名と決定、此の旨十五日伯國政府から入電あつた

マルコニー氏に勳一等旭日章

【東京十五日發國通】世界無電の父マルコニー夫妻は明十六日横濱入港の秩父丸で來朝するが、同夜帝國ホテルに一泊、十七日は宮中に參内することになつてゐるが、陛下には氏の斯界に對する貢獻の大なるを嘉せられ特に勳一等旭日章を授與される旨仰出された尚夫妻滯京中の豫定は次の通りである

十七日は參内後、明治神宮に參拜、正午は首相の歡迎午餐會に臨み、夜は東京會館で開かれる官民合同の歡迎會に出席、十八日は日光の秋色を探り、十九日は箱根にドライブ同日西下、廿日は京都並に大阪方面を見物し廿五日は早くも歸國の途に就くといふ忙がしさである係關係方面では之れが萬全の歡迎準備に大童になつてゐる

新渡戸博士遺骸哀しき歸朝

【横濱十五日發國通】米國ビクトリアに於て長逝した新渡戸稻造博士の遺骸は十五日正午横濱入港の郵船秩父丸でマリ子未亡人に護られて哀しく歸朝した、遺骸は棧橋より直ちに自動車で小石川の自邸に歸ることとなつて居る、葬儀は故博士の札幌時代から親友である加藤男が葬儀委員長となり十八日午後二時から自邸に於てキリスト教式によつて執行される筈である

東洋人の移民に

加州合同移民委員會の反對表明

【サンフランシスコ十四日發國通】移民法緩和の聲高き折十四日加州合同移民委員會は東洋人に對し移民の門戶解放に絶對反對を表明した

匪賊王憲明捕はる

昨年三月頃より長春縣内に蟠居した匪首魔土の部下となり魔土が本年春歸順するや自ら助國と稱して多數の部下を率ひ長春縣、農安縣内を橫行、放火掠奪殺人等の暴行を働いた本籍長春縣和順昌街現住所農安縣北門街の王憲明（三三）は去る十日前記自宅に潛伏中を遂に惡運盡き附屬地憲兵分隊の手で逮捕され嚴重取調べの結果犯行一切を自白したので、本十五日身柄と一件書類を首都警察廳に移牒した

今夜から藝題替り名狂言が揃ふ

長春座の歌舞伎

長春座の歌舞伎今夜から二の替りで上演されるは歌舞伎十八番の内安宅の關一幕二場增補松王丸下屋敷一幕、新作お光清三郎嫁心中、所作事羽衣一幕、所作事女郎蜘蛛振舞二場等であるが、その略筋と配役を紹介すると

一番目近松門左エ門作、榎本寅彦脚色安宅の關、竹本長唄連中出語り北陸道の波打際、安宅の松の木蔭には郡落ちの源義經武藏坊辨慶その他の主從が暫し旅の疲れを憩めてゐる、行く手には安宅の關といふ難所がある、富樫乙介が嚴重に守つてゐる、義經はもう諦めて所詮此處は通れまいわが運命も盡きたりと切腹しやうとする辨慶はこれを强く諫めてまづ獨り關所へ乘込み幸ひにも無事で行けば法螺貝を三吹、事破れたる時は一吹きと約して出て行くあとで主從はただ神佛を頼みと祈願こらす甲斐もなく、耳をかすめる法螺の音はただ一吹、主從は最早これまでと血氣にまかせて關所へ乘込めば辨慶は既に捕はれて縄目にかかつてゐる一同は富樫を一刀の下に斬り捨てんとするを辨慶はハツと怒り忠と義經を土足にかけて富樫を欺かんとする目には涙が宿る、富樫はそれを見てその忠に感じ無事に關所を通してやる、辨慶は心の内で富樫の恩誼を感じながらも惡口を吐いて悠々と通りすぎる

一富樫乙介家直　片岡松右エ門
一源判官義經　尾上多見丸
一伊勢三郎　市川荒市郎
一駿河二郎　中村高三郎
一片岡八郎　澤村いろは
一增尾十郎　中村幹三郎
一熊井太郎　嵐　妻五郎
一龜井六郎　嵐　三昇
一鷲尾三郎　尾上多三郎
一常陸坊海尊　中村　信濃
一武藏坊辨慶　市川海老十郎

第二增補松王丸下屋敷全一幕竹本連中出語り、松王丸は菅公の家來なりしが其の時の右大臣藤原時平なる者の讒訴に依つて道眞公は筑紫の國へ流罪となり時平の惡逆甚だしく道實公の一類の者は殘らず殺害せんと謀り居ることを松王丸は早くも切り時平の家來となりたるも眞實は道實公一類を保護のため道實公の奥方園生の前及び一子秀才君を助けんと謀り居る處若君菅秀才は道實公の忠臣武部源藏なる者が君が子と申し立て自分の家に置く、然る處時平の家來春藤玄蕃なる者其の事を知り菅秀才を討取らんとすれども、菅秀才の顔を見知らぬので春藤玄蕃は主君時平の命に依つて松王丸に檢分の役目を申附けに來り立歸る、松王丸は菅秀才君を助けんと悴小太郎を身替りにせんと女房千代と申合せ一子小太郎によく言ひ聞かせ武部源藏方へ行く……

一松王丸一子小太郎　嵐　三丸
一御臺所園生の前　尾上多見丸
一松王女房千代　中山延見子
一近習玉置源造　市川松三郎
一同古田傳内　嵐　三昇
一同吉川平次　中村　胡蝶
一同太田新吾　中村　吉若
一春藤玄蕃　片岡松右エ門
一松王丸　嵐　三九郎

奉天市商會奉山鐵路に貨物運賃值下げ運動

【奉天十五日發國通】現在支那方面より滿洲國内に輸入される貨物は原價に比し非常なる高率にあり且つ運賃を加算する場合は販賣に困難を生ずるので奉天市商會に於ては奉山鐵路局に對し運賃值下げ運動を起すこととなつたが之れに先立ち實業部及び交通部に對しこれが對策考究方を申請する所あつた

蕃人襲來

土森巡査の一家族慘殺さる

【花蓮港十五日發國通】十五日午前七時半臺東廳里拉支廳大竹區新武路社より約二里の台坂駐在所に突如數名の蕃人が襲擊し同所勤務巡査土森保之を殺害し首をとり同人の妻及び六才を頭に三名の子女を慘殺し他に女一名に重傷を負はせ、銃三挺と彈丸三十六發及び家財全部を掠奪し逃走したい、尚此の蕃人はトロバン社の者らしく加害者逮捕のため富地より四十名よりなる警官隊を急派した

十七日（金曜日）新京
午後五時〇分　子供の時間　童話汽で飛ぶお船　菊池　文子
同　五時三〇分　ニュース（英語）
同　五時四〇分　ニュース（露語）
同　五時五〇分　ニュース（鮮語）
同　六時　〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿洲語）講師高宮盛逸
同　六時四〇分　語學講座（日本語）講師植松金枝
同　七時　〇分　演藝（滿洲語）南陽翻打漁殺家　天暇班　香樓
同　七時三〇分　講演（滿洲語）協和會奉天事務局　滿洲國で愛すべし　楊啓榮
同　八時　〇分　ニュース　氣象豫告、番組豫告（滿洲語）
同　八時三〇分　時報（東京より）
同　八時三一分　ニュース（東京より）
同　八時四五分　ニュース　氣象餘報
同　九時　〇分　演藝（奉天より）
同　引續き　明日のプログラム豫告

變幻黒船往來

映畫劇上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百七十八回

第二の純潔（六）

　くら闇の中に男の手があつた。たのもしい竹刀だこのあるおほきな手だ。それをわれを忘れてぐいと握り締めて

『夏川さま……』

　もいちど、味はひたのしむやうに名をよんだ。

『そ、そなたは……』

『は、はい、千代でございます』

『けえッ！遠藤氏のむ、娘御であつたか……』

　夏川左京も、それなり聲を呑んでしまつた。

　が、こゝろは、その手に一切を語らして、千代の手を力強く握り返した。

　千代は、うれしかつた。第一の純潔を紅毛人に汚されて、思ふ男の夏川左京に合す顔がないとおもつてゐたが、場所が場所、生死の境にあつてはすべての罪、穢れはゆるされ、いゝことに、彼女を強氣にしたのは闇の力である。左京にまともに顔を見られぬだけに、自分もまた無言のまゝ、男のおほきな信頼できる手を握りうるのだつた。

　海水はいよ〳〵猛り狂ふて、船ていを水びたしにして、次第にふたりの全身をも呑まうとしてゐる。

『千代どの』

　やゝあつて、左京は女の名をよんだ。

『はい』

『人身御供にあげられた時は、あとでゆるりと聞かう。このほん暗のやうに躍りこむ海水のために、まもなく船は打沈んでしまうだらう。さあ、一瞬の猶豫がならぬ。甲板へ脱れやう』

『ですけど……』

『なに！』

『わたし、このまゝこの船ていに死にたうございます』

　千代はよろ〳〵となつて左京にもたれかゝつた。それを、おのが肩で支へた。

『なぜでござる。……しぬることはいと易いが、しぬべき場合を、人間最大の努力で脱出するのが、そ、それこそ人間の義務だ。責任だ。

　左京は、千代の腕を、おのが肩へ廻し、手負でも介抱するやうにして、海水をかきわけ〳〵上り口の方へ進んだ。

『でも、わたくし、もう……』

『なンだ』

『わたくし、けがれた女でございますもの……！』

　千代は、くら闇の中で、聲を呑んで忍び泣いた。

『わたくし、あなたさまに合はす顔がございませぬ、天日に曝されぬ女となりました』

『……』

　しかし、左京は、水をかき分けて歩いてゐる。

『ど、どうぞ夏川さま、わたくしをこのまゝこの船ていへ置き去りにして、おひとりで脱れてくださいまし』

　左京は、いち〳〵彼女の言葉を苦しくきいた。彼にとつても、片時も忘れられない女だつた。それが、紅毛人のために昔の女でなくなつてゐるとは……。

『夏、夏川さま。どうぞ、わたくしを置き去りにしてくださいまし親のため藩のためとはいひながらあなたさまに申譯ないことを…』

　それをきくと、何おもつたか、左京は彼女を抱へるやうにして、猛然と上り口の方へ駈け出した。

『千代どの、けつして、けつしてこの左京は、そなたを見すてないぞ。そなたの、その一言で、拙者一段と生きる力を感じた。さア、千代どの、萬難をはいしても生きるのだぞ！』

　どう〳〵とうづまく海水を押切りながら、左京は長いあひだ幽閉されてゐた人間とはおもはれぬくらゐ、まつたく超人的な働きである。